

STAX preamplifier

CA-X/PRO

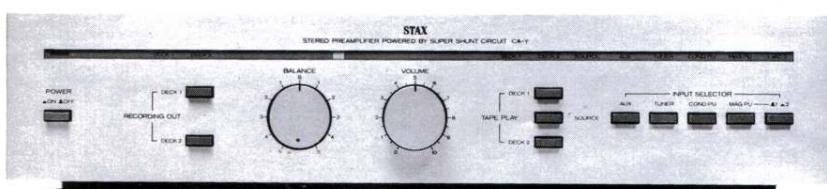
¥550,000



●CA-Y——スタックスの本格プリアンプ第2作です。CA-YはCA-Xの数々の特長を受け継ぎ、なおかつ製造工程等における経験を生かして完成されました。その特長はスーパーシャントレギュレーターの搭載をはじめ、多重NFBによりカッピングコンデンサーをなくし入力から出力まで文字どおり直結としました。また使用パーツでは音質の優れた低歪CPホリウム、バリコンタイプの空気コンデンサー、低インピーダンス低歪オーディオ用ケミコン、300μ厚無酸素銅箔ガラスエポキシ基板、金メッキ無酸素銅のジャンバー線、バラ接点による低接触抵抗化、すべての入出力に金メッキ端子の採用、磁性体を避けてアルミシャーシの採用、合理的なレイアウト等によるクロストーク面での配慮等、決してCA-Xのコストダウンモデルではありません。またデザイン面でもCdsを使用してリスニングルームの明るさに応じて自動調光するイルミネーション等、実用性と使う楽しみが十分加味されたものとなっています。MCカートリッジに対しては内蔵用ヘッドアンプサーキットが用意されており、とりあえず既にヘッドアンプをお持ちの方やトランスがお好きな方のために別売オプション(¥30,000)としました。もちろんこれも私達の自信作です。内蔵形のために独立形のようにピンピンコードで配線する必要がないという音質上のメリットもあげられます。——スーパーシャントレギュレーターによるMCヘッドアンプ——もあわせてお試しください。

CA-Y

¥195,000



●とにかく徹底してつくる——それがすべてでした。その意志が異様とも思える大きな電源部を持つプリアンプを仕上げました。

初段にワンチップデュアルFETを採用し、サーボ回路に頼らずに出力コンデンサーを取除いた世界でも頼のないピュアDCフラットアンプを搭載した上段のオールFETアンプ部と100kHzで1mΩ以下という超低インピーダンスを実現した下段のスーパーシャント電源から成っています。シャーシ内部で発生するクロストークを嫌って電源部、回路部は勿論、スイッチ、レベルコントロール、配線等に至るまで左右が完全に独立しています。特にレベルコントロールは第3次高調波歪の極めて少ないポテンショメーター左右各1個ずつを使用し中央のメカニカルクラッチにより運動させて行ないます。またこれを解除すれば単独にコントロールできるというメカニズムを開発。いわゆるバランスコントロールを必要としない方式としました。これにより信号が可変抵抗体を通ることによる音質の劣化を大幅に改善することができました。そのほか、位相補正用に空気コンデンサーの開発。MC専用・MM専用の2つのイコライザーアンプの設置。300μ厚の無酸素銅箔ガラスエポキシ基板の採用。無酸素銅線による配線。セレクタースイッチの直流抵抗を減少するバラ接点方式。MM入力負荷抵抗の30~80kΩ連続可変。パワーインプとの距離によって使い分けるショートケーブル用、ロングケーブル用のアウトブリッジ端子。左右それぞれ90VAトロイダルトランジスト10,000μF×4 + 6,800μF×1のケミコン。ネジ、パーツ、シャーシなどにアルミなどの非磁性体を使用するなど考える最高の回路を最高の素材で構成しています。その音のしまりと量感を両立させたエネルギー感ある豊かな低音と極めてクリアであたたかみを失なわない中高域が、深く音楽を内側から甦らせます。

CA-X/PRO

CA-Y

入力感度/インピーダンス	MM:1.0mV/30kΩ~80kΩ MC:0.2mV/100Ω LINE:100mV/43kΩ	MM:2mV/30~80kΩ MC(IHA-Y):70μV/100Ω
最大許容入力(1kHz)	MM:200mV MC:35mV	MM:180mV MC(IHA-Y):30mV
S/N比(IHF-A、入カショート)	MM:76dB MC:68dB LINE:106dB	MM:78dB MC(IHA-Y):106dB
全高調波歪率	MM:0.002% MC:0.003%	MM:0.003% MC(IHA-Y):0.003%
周波数特性	MM:MC:20Hz~20kHz RIAA偏差±0.3dB	MM:20Hz~20kHz (0.3dB以内) MC(IHA-Y):2.5Hz~1MHz (+0dB, -3dB)
外形寸法(W×H×D)	436×179×347mm	435×88×301mm
重量	15.5kg	6.0kg

●オプション CA-Y内蔵用MCヘッドアンプユニット
IHA-Y ¥30,000

